



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月5日

上場会社名 イフジ産業株式会社 上場取引所 東・福
 コード番号 2924 URL https://ifuji.co.jp/
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 藤井 宗徳
 問合せ先責任者（役職名） 常務取締役管理本部長（氏名） 原 敬（TEL）092-938-4561
 半期報告書提出予定日 2024年11月8日 配当支払開始予定日 2024年12月10日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 有（証券アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	11,087	△15.9	1,523	24.9	1,534	22.9	1,035	0.8
2024年3月期中間期	13,182	47.6	1,220	82.6	1,248	81.0	1,027	115.9

（注）包括利益 2025年3月期中間期 1,036百万円（△1.7%） 2024年3月期中間期 1,054百万円（121.1%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	125.21	—
2024年3月期中間期	124.55	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	15,827	10,574	66.8
2024年3月期	14,636	9,693	66.2

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 10,574百万円 2024年3月期 9,693百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	26.00	—	22.00	48.00
2025年3月期	—	26.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	27.00	53.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

（注）配当予想については、本日（2024年11月5日）公表しました「通期業績予想の修正及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,651	0.6	2,568	45.5	2,562	41.6	1,722	7.8	208.32

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

（注）業績予想については、本日（2024年11月5日）公表しました「通期業績予想の修正及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社(社名) HORIZON FARMS株式会社、除外 1社(社名) —

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期中間期	8,345,370株	2024年3月期	8,345,370株
2025年3月期中間期	63,851株	2024年3月期	82,801株
2025年3月期中間期	8,269,748株	2024年3月期中間期	8,250,845株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(企業結合等関係)	9
(収益認識関係)	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善傾向にあるものの、円安やインフレによる物価の上昇や社会保険料の増加等による可処分所得の減少、また人口の減少(人手不足)や不安定な中東情勢及び中国経済の先行き懸念に伴う海外景気の減速懸念等により、景気の先行きには注視が必要な状況にあります。

食品業界におきましても、円安や人件費高騰の影響等により原材料価格や製商品価格の値上げが続いております。鶏卵業界では、猛暑による鶏卵生産量の減少や生産コストの上昇、また鶏卵の増産を促す畜産クラスター事業や抑制を促す成鶏更新・空舎延長事業等の政府の補助金政策もあり、鶏卵相場は不安定な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループの当中間連結会計期間の連結売上高につきましては、鶏卵相場が大幅に低下し、連動する販売単価も大幅に低下したため、前年同期比15.9%減の11,087百万円となりました。

損益につきましては、液卵関連事業において原料仕入価格が低下したこと等により、連結営業利益は同24.9%増の1,523百万円、連結経常利益は同22.9%増の1,534百万円となり、いずれも中間連結会計期間において7期連続の増益となり当該期間として最高益を更新いたしました。また、親会社株主に帰属する中間純利益は、同0.8%増の1,035百万円となり2期連続の増益で当該期間として最高益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。なお、2024年7月にHORIZON FARMS株式会社の株式を取得したことに伴い、当中間連結会計期間より当社グループ内の業績管理区分を一部見直し、報告セグメントを従来の「液卵関連事業」、「調味料関連事業」及び「その他」から、「液卵事業」「調味料事業」及び「オーガニックEC事業」に変更するとともに、従来「その他」に含めていた「太陽光発電事業」について、セグメントとして識別する意義が乏しくなったため、「液卵事業」及び「調味料事業」に分割して計上する変更を行っております。なお、前年同期比については、前中間連結会計期間の数値を新たな報告セグメントに組み替えて算出し比較しております。

①液卵事業

当セグメントにおける主要な関係会社は、イフジ産業株式会社であります。

当セグメントにおきましては、鶏卵相場に連動する商品が多いため、売上高及び仕入高が鶏卵相場に連動する傾向にあります。そのため、販売単価と仕入単価の差益を一定額以上確保すること及び販売数量を確保することにより利益が最大になるように努めております。

当セグメントにおける売上の指標である販売数量につきましては、前年同期比12.8%増となり中間連結会計期間において過去最高となりました。得意先において鳥インフルエンザの影響に伴い減少していた卵の使用量が回復したことや、供給不足時に当社が安定供給したことが評価され当社の液卵販売数量が増加したこと、また新規顧客との取引が増加したこと等によるものであります。

売上高につきましては、販売数量は増加したものの、鶏卵相場(全農東京Mサイズ基準値)が前年同期比33.3%減(108円/kg減)と大幅に低下したことに伴い、連動する液卵の販売単価も大幅に低下しました。その結果、液卵売上高は前年同期比19.8%減の9,593百万円となりました。また、加工品売上高は、ゆで卵の販売増等により同15.0%増の527百万円、その他売上高は鶏卵販売の減少等により同13.8%減の156百万円となりました。この結果、当セグメント合計の売上高は同18.4%減の10,277百万円となりました。

セグメント利益につきましては、製品在庫の増加に伴う保管料の増加や販売数量増に伴う運賃の増加等があったものの、鶏卵相場に連動して原料仕入単価が大幅に低下したこと等により、前年同期比26.9%増の1,508百万円となりました。

②調味料事業

当セグメントにおける主要な関係会社は、日本化工食品株式会社であります。

当セグメントの売上高につきましては、当社グループ内での卵白プロテインの委託加工等の販売が減少したこと等により、前年同期比8.6%減の647百万円となりました。

セグメント利益につきましては、本社機能を千葉工場に統合したことによる地代家賃の減少等により同47.7%増の45百万円となりました。

③オーガニックEC事業

当セグメントにおける主要な関係会社は、HORIZON FARMS株式会社であります。

当セグメントの売上高につきましては、ブルーベリーやアサイーピューレの販売が好調だったこと等により、売上高は201百万円となり、セグメント利益は10百万円となりました。なお、当セグメントにつきましては、当中間連結会計期間から計上しているため前年同期比較は行っておらず、また2024年7月から9月の3か月間の数値であります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末の資産合計は15,827百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,190百万円増加しました。

流動資産は10,106百万円となり、前連結会計年度末に比べ677百万円増加しました。主な要因は、現金及び預金の増加962百万円、受取手形及び売掛金の減少264百万円等によるものであります。

固定資産は5,720百万円となり、前連結会計年度末に比べ513百万円増加しました。主な要因は、HORIZON FARMS株式会社の全株式取得に伴うのれんの増加487百万円、機械装置及び運搬具の増加207百万円等によるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末の負債合計は5,253百万円となり、前連結会計年度末に比べ309百万円増加しました。

流動負債は4,097百万円となり、前連結会計年度末に比べ428百万円減少しました。主な要因は、未払法人税等の増加209百万円、短期借入金金の減少400百万円、支払手形及び買掛金の減少134百万円等によるものであります。

固定負債は1,155百万円となり、前連結会計年度末に比べ738百万円増加しました。主な要因は、長期借入金金の増加690百万円等によるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末の純資産合計は10,574百万円となり、前連結会計年度末に比べ880百万円増加しました。主な要因は、親会社株主に帰属する中間純利益1,036百万円の計上等により利益剰余金が854百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は66.8%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における「現金及び現金同等物の中間期末残高」は、前年同期に比べ1,784百万円増加し4,077百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において営業活動により得られた資金は、前年同期に比べ3,532百万円増加し1,789百万円となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益の計上1,514百万円、売上債権の減少300百万円、減価償却費の計上224百万円等により資金が増加し、法人税等の支払い172百万円、仕入債務の減少150百万円等により資金が減少したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において投資活動により使用された資金は、前年同期に比べ877百万円増加し787百万円となりました。これは主に、連結の範囲の変更を伴う子会社株式取得による支出425百万円、有形固定資産の取得による支出341百万円等により資金が減少したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において財務活動により使用された資金は、前年同期に比べ873百万円増加し57百万円となりました。これは主に、長期借入金の借入による収入900百万円により資金が増加し、短期借入金の純減少額524百万円、長期借入金の返済による支出242百万円、配当金の支払額181百万円等により資金が減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間の業績の状況及び今後の見通し等を勘案し、2024年8月8日に公表いたしました2025年3月期通期の業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日(2024年11月5日)公表の「通期業績予想の修正及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想は、同資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。今後開示すべき事項が発生した場合は速やかにお知らせいたします。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,150	4,113
受取手形及び売掛金	3,399	3,134
商品及び製品	2,263	2,205
仕掛品	52	95
原材料及び貯蔵品	436	431
その他	138	136
貸倒引当金	△11	△10
流動資産合計	9,429	10,106
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,786	1,743
機械装置及び運搬具(純額)	1,009	1,216
土地	1,857	1,857
リース資産(純額)	5	4
その他(純額)	163	98
有形固定資産合計	4,821	4,920
無形固定資産		
のれん	—	487
その他	5	8
無形固定資産合計	5	496
投資その他の資産		
投資有価証券	181	186
繰延税金資産	182	98
その他	17	19
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	380	303
固定資産合計	5,207	5,720
資産合計	14,636	15,827
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,091	957
短期借入金	2,197	1,796
1年内償還予定の社債	—	16
リース債務	1	1
未払法人税等	214	423
賞与引当金	193	94
その他	828	807
流動負債合計	4,525	4,097
固定負債		
社債	—	48
長期借入金	329	1,019
リース債務	4	3
その他	83	84
固定負債合計	417	1,155
負債合計	4,943	5,253
純資産の部		
株主資本		
資本金	455	455
資本剰余金	400	414
利益剰余金	8,817	9,671
自己株式	△53	△41
株主資本合計	9,619	10,499
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	73	74
その他の包括利益累計額合計	73	74
純資産合計	9,693	10,574
負債純資産合計	14,636	15,827

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	13,182	11,087
売上原価	10,818	8,119
売上総利益	2,363	2,968
販売費及び一般管理費	1,143	1,444
営業利益	1,220	1,523
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	2	3
受取保険金	9	0
受取賃貸料	12	9
その他	7	5
営業外収益合計	32	18
営業外費用		
支払利息	4	8
営業外費用合計	4	8
経常利益	1,248	1,534
特別損失		
固定資産除売却損	0	19
特別損失合計	0	19
税金等調整前中間純利益	1,247	1,514
法人税、住民税及び事業税	163	395
法人税等調整額	56	83
法人税等合計	220	479
中間純利益	1,027	1,035
非支配株主に帰属する中間純利益	—	—
親会社株主に帰属する中間純利益	1,027	1,035

中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	1,027	1,035
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27	0
その他の包括利益合計	27	0
中間包括利益	1,054	1,036
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,054	1,036
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,247	1,514
減価償却費	218	224
のれん償却額	—	15
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△15	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△85	△98
受取利息及び受取配当金	△2	△3
受取保険金	△9	△0
支払利息	4	8
固定資産除売却損益(△は益)	0	19
売上債権の増減額(△は増加)	△335	300
棚卸資産の増減額(△は増加)	△2,800	148
仕入債務の増減額(△は減少)	990	△150
未払消費税等の増減額(△は減少)	△81	122
長期未払金の増減額(△は減少)	△516	△1
その他	△35	△132
小計	△1,420	1,967
利息及び配当金の受取額	2	3
利息の支払額	△4	△8
保険金の受取額	9	0
法人税等の支払額	△330	△172
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,742	1,789
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△4	△22
定期預金の払戻による収入	524	4
有形固定資産の取得による支出	△431	△341
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
無形固定資産の取得による支出	—	△2
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△425
その他	4	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	89	△787
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,160	△524
長期借入れによる収入	—	900
長期借入金の返済による支出	△170	△242
社債の償還による支出	—	△8
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△172	△181
リース債務の返済による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	816	△57
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△837	944
現金及び現金同等物の期首残高	3,130	3,133
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,293	4,077

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)	中間連結 損益計算書 計上額
	液卵事業	調味料事業	オーガニック EC事業			
売上高						
外部顧客への売上高	12,597	585	—	13,182	—	13,182
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	122	—	122	△122	—
計	12,597	708	—	13,305	△122	13,182
セグメント利益	1,189	30	—	1,220	—	1,220

(注) セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)	中間連結 損益計算書 計上額
	液卵事業	調味料事業	オーガニック EC事業			
売上高						
外部顧客への売上高	10,273	612	201	11,087	—	11,087
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4	35	—	39	△39	—
計	10,277	647	201	11,126	△39	11,087
セグメント利益	1,508	45	10	1,565	△41	1,523

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益の調整額△41百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△41百万円が含まれております。全社費用は、子会社株式の取得関連費用であります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

2024年7月にHORIZON FARMS株式会社の株式を取得したことに伴い、当中間連結会計期間より当社グループ内の業績管理区分を一部見直し、報告セグメントを従来の「液卵関連事業」、「調味料関連事業」及び「その他」から、「液卵事業」「調味料事業」及び「オーガニックEC事業」に変更するとともに、従来「その他」に含めていた「太陽光発電事業」について、セグメントとして識別する意義が乏しくなったため、「液卵事業」及び「調味料事業」に分割して計上する変更を行っております。

なお、前中間連結会計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

2024年7月31日付でHORIZON FARMS株式会社の全株式を取得いたしました。これにより、「オーガニックEC事業」セグメントにおいて、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの発生額は、503百万円であります。

(企業結合等関係)

取得による企業結合

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 HORIZON FARMS株式会社

事業の内容 オーガニック及びオールナチュラル食品の加工及び仕入販売

② 企業結合を行った主な理由

当社グループは既存事業の強化に注力しながら、M&Aの活用により事業領域の拡大や企業価値向上に取り組んでおります。

HORIZON FARMS株式会社は、オーガニック、無添加、オールナチュラルの食品のみを世界中の小規模農場から厳選して輸入し、自社ECサイトを中心とした販売を通じて、健康志向でエシカル感度の高いお客様に新しい食の選択肢を提供しております。

オーガニック食品、ECの分野は今後も成長が見込まれる分野であり、液卵事業、調味料事業に続く新たな事業の柱として、事業領域を拡大し、また、HORIZON FARMS株式会社の持つECに関する高いノウハウを活かし、当社の既存EC販売とのシナジーを発揮することで当社グループの更なる企業価値向上につながると考えております。

③ 企業結合日

2024年7月1日

④ 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

⑤ 結合後企業の名称

変更はありません。

⑥ 取得した議決権比率

100%

⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として、株式を取得したためであります。

(2) 中間連結会計期間に係る中間連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2024年7月1日から2024年9月30日まで

(3) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	592百万円
取得原価		592百万円

(4) 主要な取得関連費用の内容及び金額

デューデリジェンス費用・手数料等 41百万円

(5) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

① 発生したのれん

503百万円

② 発生原因

今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力によるものであります。

③ 償却方法及び償却期間

8年間にわたる均等償却

(6) 企業結合契約に定められた条件付取得対価の内容及び今後の会計処理方針

① 条件付取得対価の内容

取得の対価には、条件付対価を含めておりません。条件が成立した場合、最大200百万円の条件付取得対価(アーンアウト対価)が発生する契約であり、現時点では確定しておりません。

② 会計方針

取得対価の変動が発生した場合には、取得時に発生したものとみなして取得原価を修正し、のれん

のれんの償却額を修正することとしております。

(収益認識関係)

1. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	液卵事業	調味料事業	オーガニックEC事業	
液卵	9,840	—	—	9,840
凍結卵	2,115	—	—	2,115
卵加工品	458	—	—	458
その他鶏卵関連	167	—	—	167
調味料	—	584	—	584
オーガニック商品	—	—	—	—
その他	14	0	—	14
顧客との契約から生じる収益	12,597	585	—	13,182
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	12,597	585	—	13,182

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	液卵事業	調味料事業	オーガニックEC事業	
液卵	7,531	—	—	7,531
凍結卵	2,061	—	—	2,061
卵加工品	527	—	—	527
その他鶏卵関連	138	—	—	138
調味料	—	611	—	611
オーガニック商品	—	—	201	201
その他	13	0	—	13
顧客との契約から生じる収益	10,273	612	201	11,087
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	10,273	612	201	11,087

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

2024年7月にHORIZON FARMS株式会社の株式を取得したことに伴い、当中間連結会計期間より当社グループ内の業績管理区分を一部見直し、報告セグメントを従来の「液卵関連事業」、「調味料関連事業」及び「その他」から、「液卵事業」「調味料事業」及び「オーガニックEC事業」に変更するとともに、従来「その他」に含めていた「太陽光発電事業」について、セグメントとして識別する意義が乏しくなったため、「液卵事業」及び「調味料事業」に分割して計上する変更を行っております。

なお、前中間連結会計期間の顧客との契約から生じる収益を分解した情報については、変更後のセグメント区分により作成したものを記載しています。